

6 テクノロジーパートナーアライアンス推進室

テクノロジーパートナーとの連携によるビジネス創出・拡大に向け全社的な取り組みを推進

NTTデータ先端技術の強みは、最新技術を目利きし、ビジネス化していく技術力やノウハウだ。最大限に効果を発揮するため、テクノロジーベンダーとの協業を重視している。本稿では、そうしたテクノロジーパートナーとのビジネス拡大に向け、全社的な施策を推進する専門組織の取り組みを紹介する。

重点パートナーごとに担当を 設けて連携強化に取り組む

NTTデータ先端技術は2020年、テクノロジーパートナーアライアンス推進室（以下、TPA推進室）を設置した。組織のミッションについて、室長の磯部俊洋氏は「パートナービジネスを創出・拡大すること、また技術力向上やプレゼンスの向上を通して社員の満足度を高めることを目的としています。NTTデータと連携してパートナーアライアンスに取り組んでいます。活動方針は大きく3点（図1参照）です」と述べている。現時点では、ServiceNowとMicrosoftを戦略的な重点パートナー

と位置付けており、連携強化を目的にそれぞれの担当を設置し、パートナーと技術面、マーケティング面で連携するほか、社内向けに研修受講や資格取得の支援、調達の最適化・商流の調整、技術検証サポートなどを行っている。

またMicrosoft技術センターを開設して技術検証やコミュニティ活動に取り組んでおり、技術的な知見を有する組織として社内外に認知されつつある。

ビジネス拡大に向けた各事業部の取り組みを後押し

これまでも各事業部がServiceNow



NTTデータ先端技術株式会社 経営企画部
テクノロジーパートナーアライアンス推進室

（左から）室長 磯部 俊洋氏

Microsoft 担当 担当部長 百瀬 貴之氏

ServiceNow 担当 担当課長 齋藤 航平氏

やMicrosoftの製品・サービスを活用しビジネス拡大に取り組んできた。TPA推進室は全社的な施策により、そうした各事業部の取り組みを後押しする役割を果たしている。

「事業部単独で、既存ビジネスとのバランスを考慮しながら人材育成のような先行投資を行うのは容易ではありません。TPA推進室の活動は、人材育成や資格取得の支援、事業部個別に行っていた調達の最適化などを通じ、各事業部のビジネス拡大に向けた取り組みを後押しするものと言えます。会社全体としては重点パートナーとのビジネスを、2023年度には、2020年度の2倍規模まで拡大することに貢献したいと考えています。また重点パートナーそのものも増やしていく方針であり、具体的な検討も進めています。」（磯部氏）

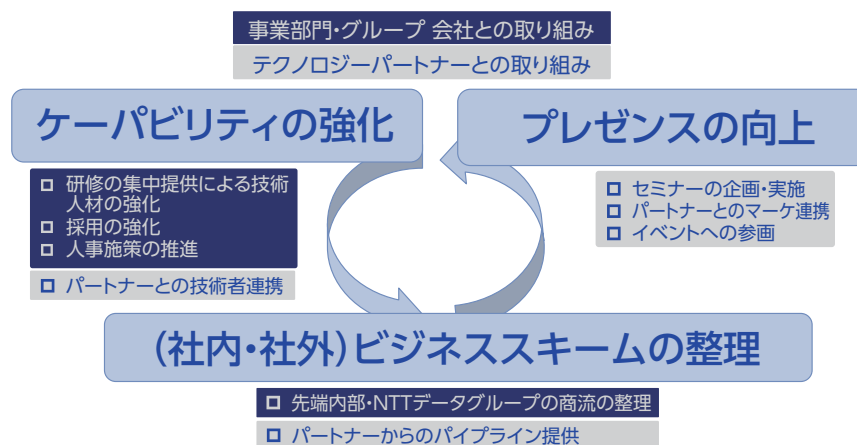


図1 テクノロジーパートナーアライアンス推進室 活動方針